

第8回 昭和の森親子田んぼ教室

稻刈り

山田 益弘 (千葉市)

日 時：2019年9月15日（日）9:30～12:00

天気 晴れ

参加者：大人6名、子ども6名、合計12名

担当指導員：佐野由輝 岡田富子 山下美佐子 山田益弘

昭和の森ビオトープの会：西川 章

台風15号の爪痕が生々しく残る昭和の森畠田で、親子田んぼ教室今年度3回目稻刈りが実施されました。ビオトープの会田んぼ隊長西川さんから鎌の使い方、稻穂の持ち方、左右の足の位置等の指導を受け「ケガの無い様気を付けて」の言葉に真剣な顔つきです。

田んぼは「ふかんぼ」で土はドロドロ、足を運ぶのも大変でしたが、田んぼの泥や、生き物に触れ合いながら、親子で力を合わせ、稻刈り、おだかけを頑張りました。作業後は一粒の稻の種からどの位の米がとれたか、みんなで計算しました。今年は例年より7月の梅雨が長くイネの生育が不良との事です。（昨年に比べ10%～20%少ない様です）

次は田んぼの生き物調べです。バッタ、コオロギ、カマキリ、イナゴ、トンボ類、カワニナ、ヒメゲンゴロウ、メダカ等々田んぼでの生き物を捕獲し観察しました。そして、捕まえた生き物を「田んぼの生物のつながり」シートに置き、生態系ピラミットで考えました。イネを作る田んぼは、森の落ち葉や動物の死骸などがしみこんだ栄養豊かな水を蓄えています。そして、美味しいコメを作るとともに、たくさんの生き物の命を育て、多くの種類の生き物がそれぞれ、お互いにつながりあってている感じを感じることができました。

「イネを育てる事の大変さを感じ、貴重な体験が出来た」「小学校でバケツ稻を育てており良い勉強になった」「また参加したい」等々の感想を頂き今年度の親子田んぼ教室は終了しました。

